



あいサポート とっとりフォーラム 23

“ノックオン カバー”

「コロナ禍」3年・ややふさぎ込みがちな日々、そんな心境の中、鳥取大学医学部高度救命救急センター上田教授との出会いはフォーラム企画途上、痛烈なエネルギーをいただきました。

～ノックオンをカバーする組織 スーパースターはいらない アンサングヒーローのように
無名のヒーローの集まり…誰かの失敗を誰かがフォローする組織が強い～
福祉もそんなものかもしれない…。今年のフォーラム「凝縮パワー全開」の気持ちで23回目は
迷わずリアルな開催と決めました。久しぶりに「お正月はとっとりで！」エネルギー充電してく
ださい。基本的な感染予防へのご協力を切にお願いし再会を熱くお待ちしております。

※ゲストの方は現段階では全員登壇される予定ですが、感染症等の状況によりWeb登壇となる場合がございます。

予めご了承くださいませようお願い申し上げます

プログラム

≪ 令和5年1月7日(土) ≫ 会場：米子コンベンションセンター国際会議室

9:00 - 9:10

開会のあいさつ

足立 修栄 (実行委員長)

伊木 隆司 (米子市長)

9:10 - 10:00

「郷土の民謡 人権学習 の取組み」

朝一番、やさしい気持ちでスタートいたします。

鳥取市立気高中学校の貝殻節の伝承、米子市立湊山中学校 PTA の人権学習部とあかり広場の仲間との料理作り交流、いずれも永きに亘り伝承、継承されている活動です。進行は、抜群の行動力とリーダー性と豊かな感性が光る吉岡さんをお願いします。吉岡さんも又SDGs にいち早く取り組み、社内のみならず地域で頑張る人たちを巻き込み郷土の元気にも貢献されそのパワーどこから?進行&スピーカーをお願いします。

ゲスト 西墻 明 (鳥取市立気高中学校校長)

福本 貴郎 (米子市立湊山中学校 PTA 会長)

進行&スピーカー 吉岡佐和子 (山陰合同銀行執行役員米子営業本部長)

助言者 伊木 隆司 (米子市長)

10:00 - 11:10

Topics!! 「生きることが光になる」(糸賀一雄100年記念論文集タイトル 参照)

「医療的ケアの必要な人の地域生活を支え・創る」

医療的ケアの必要な人たちの地域移行、地域福祉の最前線で取り組まれている3人のゲストの方にお話いただきます。医療的ケアの必要な人たちの地域生活の拡充を願って。

ゲスト 遠山 裕湖 (宮城県医療的ケア児等相談支援センターちるふぁセンター長)

玉崎 章子 (社会医療法人同愛会・博愛こども発達・在宅支援クリニック院長)

進行&スピーカー 丹羽 彩文 (社会福祉法人昴理事長・全国地域生活支援ネットワーク事務局長)

コメンテーター 山本ひろし (参議院議員・元厚生労働省副大臣)

11:10 - 11:20 休 憩

11:20 - 12:10 **記念講演**

～自殺・孤独・孤立を予防するために～ 寄り添うあなたができること
ご自身の子供のころのつらい体験から「誰もが生きやすい社会を作りたい」を一念に「ライトリング」を立ち上げ、この10年間でケアとキーパー養成講座を13歳から25歳までの若年層ゲートキーパー1万8000人を養成する。日々忙しく全国を奔走活動されています。

ゲスト 石井 綾華（特定非営利活動法人 Light Ring 代表理事・作新学院大学客員准教授
厚生労働省のこころのサポーター養成委員担当 等、精神保健福祉士）

12:10 - 13:00 休 憩

13:00 - 13:10 **年頭所感**

「とっとりフォーラムの皆さんへ 新年の激励」（ビデオメッセージ）

大島 一博（厚生労働省事務次官）

13:10 - 14:20 **[基調講演] 行政説明**

3年目という長きにわたる新型コロナ禍は、未知との遭遇に情報の氾濫も加え混乱しました。沢山の課題と直面し、断絶とか人間関係の希薄、生活様式等、何か変わりました。そんな厳しい背景の中にも障害者総合支援法の見直しは熱心に議論されていました。基本的な論点と改正内容等わかりやすくお話いただきます。これからの福祉が希望と魅力ある福祉サービスとなり、若者が押し掛ける職域となるよう現場でも逞しくアートをしたいですね。

辺見 聡（厚生労働省社会援護局・障害保健福祉部部長）

14:20 - 15:10 **「秒単位・命との闘い 高度救命救急センター」～救いたい！命の尊厳～**

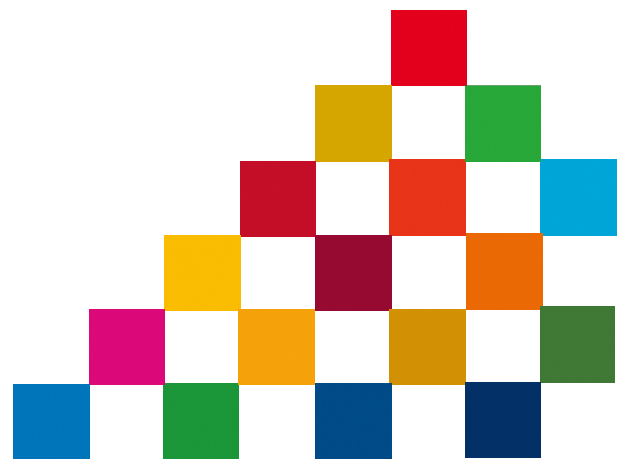
期待される高度救命救急センターをめざす ～米子から世界へ～

京都アニメーション放火殺人事件の被告の全身大やけどは、予測死亡率が95%を超えており、救命困難という状況から一命を救った。そしてそこには、被告と人間上田との人対人が正面からぶつかりあい、心境の変化を垣間見ることができた。しかしその後上田はしばらく辛い日々が続いていた…。被告は上田に「どうせ死ぬのにそんな僕にやさしくしてくれる人もいるんだ」と…。上田は「孤独、孤立、貧困へ苦しむ人たちへ目を向けられたらこのような事件を防ぐこともできるかもしれない」と訴える。救命救急医療を専門とする医師の心血を注ぐ必死の日々を想像すると…。

私たち福祉人にも重いところが共鳴します。（先生はラガーマンです）

上田 敬博（鳥取大学医学部付属病院高度救命救急センター教授）

15:10 - 15:20 休 憩



「誰一人 とりのこさない 社会の実現にむけて」

新型コロナ禍約3年はすべての人に窮屈さのある日々でしたが、障害のある人たちの生活も障害の特性も含め辛く厳しい日々がありました。外出、面会集会等々の自粛、コロナ感染当事者、濃厚接触者、全体の規制、2週間自室にこもる生活、理解できない厳しさ…そんな日々を共にくぐってきました。地域での様々な生きづらさもクリアに報道され福祉への期待も大きく、配慮ある新しい強い福祉が求められます。その道一筋熱く追い求めるスペシャリストのゲストの皆さんにフォーラム 23 をまとめていただく役割でもう一度「共生社会」の実現に「命」を吹き込んでいただければ主催者は本望です。誰一人取り残さない社会をどう考えるのか？ 結論にこだわらずグローバルに discussion お願いします。 天も常識も突き破るパワー集団に期待！！ します。

ゲスト 平井 伸治 (鳥取県知事)
 水流 源彦 (社会福祉法人ゆうかり理事長・全国地域生活支援ネットワーク代表)
 広江 研 (社会福祉法人こうほうえん会長)
 衛藤 晟一 (参議院議員・元一億総活躍担当大臣)
 進行 丹羽 彩文 (社会福祉法人昴理事長・全国地域生活支援ネットワーク事務局長)

≪ 令和5年1月8日 (日) ≫ 会場：米子コンベンションセンター国際会議室

9:00 - 10:15 **鳥取県の芸術文化活動「芸術文化活動からの出会い・つながり・発展」**

障がいのある人の芸術文化活動は全国的に普及し、アーティストの個性は様々なかたちで評価を受け、色とりどりの社会参加が進められています。鳥取県においても、各施設、事業所それぞれが大切なキーワードをもとに芸術文化活動をされています。今後の更なる社会参加を推し進めるために、様々な立場の関係者にお集まりいただき報告をいただきます。(協力：あいサポート・アートセンター)

ゲスト 大塚 千枝 (日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS パフォーミングアーツ事業部長、元厚労省障害者文化芸術計画推進官)
 中野淳太郎 (鳥取県障がい福祉課課長)
 山根 大樹 (おりもんや管理者)
 進行&MC 水田 美世 (ウェブマガジン「トット」編集長・学芸員/あかりアート活動アドバイザー)

10:15 - 12:30 **市民公開講座「てんかん専門医からのあなたへのメッセージ」**

公益社団法人日本てんかん協会鳥取県支部主催(てんかんへの鳥取県助成事業)

◆この講座のみの参加希望者は参加費無料です。(但しコロナ関係で、人数制限をする場合があります。)

近年のてんかん情報をまとめてスペシャルな企画です。

10:15 あいさつ 足羽 泉枝 (日本てんかん協会鳥取県支部代表)
 10:20 講演 「てんかんの基礎と小児のてんかん」前垣 義弘 (鳥大医学部脳神経小児科教授)
 10:45 「成人・高齢者のてんかん」吉岡 伸一 (鳥大医学部保健学科教授)
 11:05 「てんかんと共に生きる」植田 俊幸 (鳥取県立厚生病院精神科医長)
 11:30 「障害児者の口腔衛生」宮地 雅之 (みやじ歯科院長)
 11:45 「てんかんの治療の最前線～最適の治療法とは?～」岡西 徹 (鳥大医学部脳神経小児科准教授)
 12:05 ～フロアからの質問を受け付けます。
 12:30 閉会挨拶

開催要項

- 日時 2023年（令和5年）1月7日（土）、8日（日）
場所 米子コンベンションセンター 国際会議室（米子市末広町 294 / TEL 0859-35-8111）
方法 本フォーラムは会場参加のみで開催します。Web 配信は行いません。
※参加に際してマスク着用等感染対策を行っていただきますようお願い申し上げます。

お申し込み

下記の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX または E-mail にてお申し込みください。

※参加申込書に記載された個人情報については、本フォーラムの参加受付及び次回開催案内送付に利用します。
それ以外の目的には使用いたしません。

- 定員 200名 会場の都合により、200名となり次第受付を終了とさせていただきます。
申込期日 **2022年12月26日（月）**
参加費 5,000円 一日のみ参加、両日参加も同じとさせていただきます。
申込受理 参加申込受理後、FAX または E-mail にて受付番号および参加費用振込先をご案内いたします。

【交流会の開催】

- 定員 20名 先着20名、事前申込のみとさせていただきます。
日時 2023年1月7日（土）17:30～
会場 ル・ポルト（米子コンベンションセンター内）
参加費 6,000円

※交流会について、新型コロナ感染の状況により中止する場合があります。

◆FAX 0859-28-8899 ◆E-mail akari@sanmedia.or.jp

【参加申込書】（不足する場合はコピーしてご使用ください）

氏名 [ふりがな]	所属	連絡先 [住所および TEL & FAX]	交流会申込 の場合○
[ふりがな]		送付先住所 TEL FAX	
[ふりがな]		送付先住所 TEL FAX	

※当日ご欠席された場合は参加費の返金は出来かねますことご承知ください。

※宿泊は各自でご用意ください。駐車場は会場（米子コンベンションセンター）隣の米子駅前簡易駐車場
をご利用下さい。参加者は無料となります。

主催：福祉フォーラム実行委員会
主管：NPO法人あかり広場・社会福祉法人もみの木福祉会
事務局：〒683-0103 鳥取県米子市富益町 4660 番地 もみの木園内フォーラム事務局（宮本・北野）
TEL 0859-28-8470 FAX 0859-28-8899
本部：〒683-0001 鳥取県米子市皆生温泉 2-2-8 NPO法人あかり広場
TEL 0859-35-0505 FAX 0859-35-0505

[後援予定]鳥取県・鳥取労働局・米子市・境港市・鳥取市・倉吉市・鳥取県町村会・鳥取県教育委員会・
米子市教育委員会・鳥取県社会福祉協議会・鳥取県共同募金会・鳥取県手をつなぐ育成会・鳥取県知的障
害者福祉協会・米子商工会議所・日本てんかん協会鳥取県支部
NHK鳥取放送局・BSS山陰放送・日本海テレビ・山陰中央テレビ・中海テレビ放送・新日本海新聞
社・山陰中央新報社・朝日新聞鳥取総局・毎日新聞鳥取支局・読売新聞鳥取支局（順不同・敬称略）